

経営発達支援計画 令和元年度 評価表

平成31年4月1日～令和 2年3月31日

三次広域商工会

事業名	経営発達支援計画	期 間	平成28年4月1日～平成33(令和3)年3月31日
達成すべき目標	創業期の企業を支援する「創業支援事業」、成長期、成熟期の企業を支援する「事業計画策定支援事業」、成熟期、衰退期の企業を支援する「事業承継支援事業」等を軸に、小規模事業者を面的に支援する推進体制の構築を目標とする。		
達成すべき目標に対する成果	<p>(1) ネットde記帳を中心とした記帳指導を充実させ、経営分析の効率化を図り、巡回訪問件数を増加させることによって事業所との信頼関係を深め、なんでも相談できる仕組みを構築する。 令和元年度末のネットde記帳利用者件数は、103事業者(うち自計31事業者)、前年度末98事業者(うち自計28事業者)と若干ではあるが増加できた。しかし、巡回件数で見ると819件で、昨年度の1,055件から236件減少している。特に、対象企業数が296社から215社へ減少していることは達成すべき目標に相反する状況であり、次年度は毎月確認しながら計画的な巡回が必要である。</p> <p>(2) 実現可能な事業計画の策定を支援し、管内小規模事業者に寄り添いながら伴走型支援を行う。 事業計画策定支援は、34事業者へ行った。目標件数55件には届いていないが、売上の増加につながった事業者は、12事業者あり伴走型支援の成果と考える。</p> <p>(3) 6次産業化への支援では、農林業と商工業の一層の連携強化を図り、地域経済基盤の強化をめざす。また、三次市交流拠点施設と連携し、『みよしブランド』の強化を図るとともに、インターネットやアンテナショップを活用し販路開拓等を積極的に支援する。 今年度は、特に販路開拓支援に取り組み、高速道路SAを活用した商工会地域物産展、みよし実り収穫祭at広島駅、そして幕張メッセで開催されたこだわり食品フェアへの出展支援を実施し、新たな消費者や取引先の獲得に寄与した。また、本会ホームページ内の会員事業所紹介コンテンツへの参加が、50事業者で、アクセス数1,039件となっており徐々に増加している。</p> <p>(4) 地域経済の活性化に資する事業では、自動車道のクロスポイントを活かした着地型観光の推進、商工会エリアの各地域で開催されるイベントの支援、行政・各支援機関・商工観光団体との連携を通して観光産業の支援を行い、観光客数の増加と消費額の増加をめざす。 今年度も、本会ホームページを活用し、管内各地域のイベント最新情報の提供に努め、入込客の増加を図った。また、観光事業を推進するための組織を検討すべく最初の一步を踏み出すことができた。</p>		

評価指標

A 達成度100%以上

B 達成度80%以上100%未満

C 達成度30%以上80%未満

D 達成度30%未満

E 未実施

個別項目評価		事業内容	事業進捗状況(実績)									
測定指標	(1)		地域の経済動向調査に関すること	支援内容	28年度実績/目標	29年度実績/目標	30年度実績/目標	元年度/目標	元年度達成率	評価	伴走型補助金	2年度目標
					①管内小規模事業者へのアンケート調査	管内小規模事業者へのアンケート調査	1/1 参考:調査ベース 148社/782社	1/1 有効/発送 128社/769社	1/1 有効/発送 97社/736社	1/1 有効/発送 129社/701社	100.0%	A
		②外部調査機関を利用した調査 経済センサス、(株)日本統計センターの「市場評価ナビ MieNa」、REASAS、jSTAT MAP等	外部調査機関を活用した調査	15/50 (分母:経営分析件数)	33/45	33/50	35/55	63.6%	C	-	60	事業計画策定不要分1件含む
		③三次市観光客数動向調査	三次市観光客数動向調査	1/1 参考:提供件数 14社提供	1/1	1/1	1/1	100.0%	A	-	1	

		事業内容	事業進捗状況(実績)										
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	2年度目標	備 考	
測定指標	(2)	経営状況の分析に関すること ①ネットde記帳・確定申告・需要動向調査から収集したデータを基に経営分析を行う。 ②管内小規模事業者に対するヒアリング調査。 ③専門家による分析支援	巡回訪問ヒアリング件数	25/180	80/180	83/180	60/150	40.0%	C	-	/150		
			経営分析実施件数	263/50	108/65	98/75	103/85	121.2%	A	-	/95	ネットde記帳事業者	
			ネットde記帳自計件数	20/20	28/22	28/25	31/28	110.7%	A	-	/30		
			専門家派遣件数	12/12	15/14	16/14	8/15	53.3%	C	-	/15		
			事業内容	事業進捗状況(実績)									
	(3)	事業計画の策定支援に関すること	小規模事業者が厳しい経営環境でも持続的に事業運営できるように、事業計画の策定の意義や必要性を周知させながら、経営分析で課題のある小規模事業者に対して事業計画策定支援を行う。 喫緊の懸案事案である「創業支援」「事業計画策定支援」「事業承継支援」「農商工連携」について支援を行う。 また、必要な資金調達について、新設された「小規模事業者経営発達支援融資制度」や「マル経融資」等の金融支援を積極的に行う。	支援内容	28年度実績/目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成	評 価	伴走型 補助金	2年度目標	備 考
				創業セミナー実施回数	2/2	2/2	1/2	1/2	50.0%	C	○	/2	担当 山崎
				創業セミナー参加者数	7/30	24/40	4/40	7/40	17.5%	D	-	/40	
				創業支援者数	3/2	5/4	8/6	9/8	112.5%	A	-	/10	
				事業計画作成セミナー実施回数	1/1	2/1	1/2	1/2	50.0%	C	-	/2	担当 山崎
				事業計画作成セミナー参加者数	14/20	10/30	4/35	5/40	12.5%	D	-	/45	
				経営革新計画承認社数	0/4	0/5	0/6	0/7	0.0%	D	-	/8	
事業承継セミナー実施回数				1/1	2/1	1/2	1/2	50.0%	C	○	/2	担当 山崎	
事業承継セミナー参加者数				14/10	16/10	8/20	4/20	20.0%	D	-	/20		
事業承継支援者数				4/2	4/4	6/6	3/8	37.5%	C	-	/10		
農商工連携支援件数	1/2	0/3	0/4	1/4	25.0%	D	-	/4					
事業計画策定支援件数	42/40	33/45	33/50	34/55	61.8%	C	-	/60					

測定指標	(4)	事業計画策定後の実施支援に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)							
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成率	評価	伴走型 補助金	2年度目標	備考
			事業計画策定後は、策定事業者に対して3ヶ月に1度、指導員が進捗状況を個別訪問等により確認する。事務局では、PDCAサイクルを意識し、必要に応じて改善策を検討し確実に実施へと繋がるよう支援を行う。各指導員の月次の目標フォロー件数を作成し、月1回の会議で確認する。事業の報告会を開催し、成功事例等を共有できる場を作る。「創業コーディネーター」を配置し、創業に関する相談に応えられる体制を整える。また「創業コーディネーター」は創業支援セミナー後のフォローを指導員と共に進行。	計画策定後フォロー支援先数(新規分)	46/50	49/61 17社	188/72 28社	113/83 29社	136.1%	A	-	/92
創業支援コーディネーター支援者数	2/2	0/4	8/6	9/8	112.5%	A	-	/10	経営指導員の個別支援			
測定指標	(5)	需要動向調査に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)							
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成率	評価	伴走型 補助金	2年度目標	備考
			地域の経済動向調査時に行った情報並びに各種調査機関の調査資料を利用し、個社の必要とする需要動向を調査する。入手した情報は、個別訪問やメールにて情報共有を行い、事業計画策定時に活用して行く。「ひろしま夢ぶらざ」や「TAU」での売れ筋商品情報等を継続的に取得し分析を行う。分析結果をもとに、ミラサボ等の専門家を利用して、商品やパッケージのブラッシュアップを行う。	需要動向情報提供件数	15/50	5/61	32/72	44/83	53.0%	C	-	/92
需要動向セミナー実施回数	1/1	1/1	1/1	1/1	100.0%	A	-	/1	担当 山崎			
需要動向セミナー受講者数	14/20	11/20	17/20	6/20	30.0%	C	-	/20				
需要動向専門家派遣件数	0/2	2/2	1/2	1/2	50.0%	C	-	/2				
測定指標	(6)	新たな需要の開拓に寄与する 事業に関する こと	事業内容		事業進捗状況(実績)							
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成率	評価	伴走型 補助金	2年度目標	備考
			①まちゼミの支援:事業主が講師を務め、取扱い商品等をわかりやすく消費者にPRすることで、店の認知度を向上させ、販路開拓、新規顧客の獲得に繋げていく。②地域ブランドの広報支援:管内において「みよしブランド」に認定された商品を提供する企業に対して「TAU」、「ひろしま夢ぶらざ」への出店支援、「みよし商工フェスティバル」への出展を促し、商品等の認知度を高めて販路拡大に努める。商品情報は、ホームページや会報を利用して定期的に発信して行く。③ITを利用した販売支援:需要開拓を支援するため、域外に商品・サービスの販売を要望している小規模事業者に対して、本会ホームページに小規模事業者情報を掲載し広報支援を行う。また、個社においてもIT活用を促進するために、「ITセミナー」を開催する。	まちゼミ開催回数	1/1	23/10	14/10	26/10	260.0%	A	○	/10
まちゼミ参加事業者	7/10	10/12	14/14	19/16	118.8%	A	-	/18				
トレッタみよし等広報回数	1/2	0/3	0/3	0/4	0.0%	E	-	/4				
HP情報発信回数	0/24	22/36	35/48	36/60	60.0%	C	-	/72	50店舗のアクセス数1,039件			
ITセミナー開催回数	0/1	2/1	1/1	1/1	100.0%	A	○	/1	担当 貞近			
ITセミナー参加者数	0/10	13/12	11/14	6/16	37.5%	C	-	/18				

		事業内容	事業進捗状況(実績)									
			支援内容	28年度実績 /目標	29年度実績 /目標	30年度実績 /目標	元年度 /目標	元年度 達成率	評 価	伴走型 補助金	2年度目標	備 考
(7)	地域経済の活性化に資する取り組み	中国自動車道と中国やまなみ街道(尾道～松江線)のクロスポイントに位置する好条件を機会と捉え、その波及効果が及ぶよう管内の七町にある各種団体が開催するイベント・まつりへ協力し、交流人口の増加と地域の連帯を図る。本事業を円滑に遂行するため、観光部会を新設する。	ツアーの企画実施	0/1	0/1	0/1	0/1	0.0%	E	-	/1	
	地域経済の活性化事業		イベント支援	14/14	14/14	13/14	14/14	100.0%	A	-	/14	HPへのアクセス数10,652件
			三次市・会議所・観光協会意見交換会	0/1	1/1	1/1	1/1	100.0%	A	-	/1	
			観光部会新設	0/1	0/1	0/1	0/1	0.0%	E	-	-	3月勉強会の開催
測定指標	(8)	他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること	事業内容	事業進捗状況(実績)								
		①情報交換会の開催:三次市、三次商工会議所、(株)日本政策金融公庫)、市内金融機関と連携し、年1回意見交換会等を開催し、情報を共有化するとともに創業⇒経営拡大⇒事業継続・承継 各段階における支援レベルの向上と支援体制の充実を図る。②広島県よろず支援拠点との連携:当会で解決出来ない問題等については、広島県よろず支援拠点と連携をとり、地域小規模事業者の支援を行う。	1.三次市・三次商工会議所・中小機構中国本部・広島県事業承継ネットワーク事務局と連携し新たな会を立ち上げ、三次エリアにおける事業承継支援について協議するとともに情報及び支援手法の共有を実施した。(4回開催) 2.三次市・三次広域商工会・三次商工会議所の三者により、商工業者に対する支援制度について意見交換を行った。									
(9)	経営指導員等の資質向上に関すること	事業内容	事業進捗状況(実績)									
		小規模事業者の高度化・多様化する相談案件に対応し、創業・経営革新につながる提案型指導ができるよう経営指導員等の専門的知識のスキルアップを図る。併せて他の職員とも情報の共有を図る。	1.広島県商工会連合会・広島県商工会職員協議会が開催する研修会・経営指導員:専門スタッフ研修・指導職員:基本能力研修参加・全職員:パワーアップセミナーへそれぞれ参加し、最新情報を入手するとともに、支援事例の研修を行った。 2.専門家に同行しOJTより支援力の向上を図った。									
(10)	事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること	事業内容	事業進捗状況(実績)									
		本事業の成果、評価及び見直しについては、三次市、広島県商工会連合会、中小企業診断士の外部有識者からなる「経営発達支援事業評価委員会」を設置し、毎年度、本実施状況及び成果について評価・検証を年1回以上行い、見直しの提示を行う。見直しの提示を受け、各地区地域振興委員長、事務局、中小企業診断士で構成する「経営発達支援計画検討委員会」において見直しの方針を決定する。評価、見直しの結果は、理事会、総代会へ報告し承認を受け、ホームページ等により公表する。	1.事業評価委員会の開催 3回、検討委員会の開催 1回									

	実績	<p>令和元年度の実績評価を各項目ごとに行う。</p> <p>①経済動向調査:今年度の地域経済動向調査事業は、消費増税に伴う影響についてのアンケートを701社へ対して行い129社から回答があった。また、外部の分析データは、35社へ提供した。</p> <p>②経営状況分析:金融相談に際し、直近の試算表データ及び過去2期分の決算データを活用し改善計画策定等の基礎資料として活用した。</p> <p>③経営計画策定支援:経営計画策定支援は34事業者に実施。内訳は、国、市の補助金関係が12事業者、金融支援11事業者、経営力向上計画1事業者、先端設備等導入計画2事業者、創業関係7名であった。</p> <p>④事業計画策定後の支援:経営計画策定支援を実行した34事業者うちの27事業者に対し延べ113回進捗確認等を行った。</p> <p>⑤需要動向調査:夢ぷらざや市場評価ナビ等から情報を取得し、44事業者へ提供を行った。また、専門家派遣制度を活用し、1事業者に対しパッケージのブラッシュアップ支援を行った。</p> <p>⑥新たな需要の開拓に寄与する事業:夢ぷらざの三次フェアにおいて9事業者の出店を支援した。高速道路SAにおける地域物産展へ、3事業者の出店支援を継続した。また、昨年10月、三次市の支援を受け、本会・三次商工会議所・JA三次とJR西日本が連携し、広島駅北口において、みよし実り収穫祭at広島駅を開催し、三次市内の10事業者が製造及び生産した産品等の販路開拓支援を実行した。2月には、幕張メッセで開催された「こだわり食品フェア」へ1事業者が出展し商談を行った。</p> <p>⑦地域経済の活性化:各地域14イベントの開催支援及び公式HPを活用した広報支援を実施した。また、観光振興検討委員会の新設に向け、勉強会を開催した。</p> <p>⑧他の機関との連携情報交換:三次市・三次商工会議所・中小機構中国本部・広島県事業承継ネットワーク事務局と連携し新たな会を立ち上げ、三次エリアにおける事業承継支援について4回協議をするとともに情報及び支援手法の共有を行った。</p>
評価結果	評価と今後の取組み	<p>I. 経営発達支援計画</p> <p>地域経済動向調査では、消費増税に伴う影響調査を実施した。結果からは、今回の増税は、前回のような駆け込み需要はなかったこと、前年同期との売上高比較では、小売・サービス業は減少傾向が強く、その他の事業では、半数が変化がなかったとの回答であった。また、キャッシュレスに関しては、小売業では8割以上の利用があったとの回答であった。キャッシュレス化の傾向は、更に進むと予想されるため、未対応事業者への勧奨を進める。次に、本事業において、もっとも傾注すべき経営計画策定支援は、目標の6割程度しか実行できていない。通年申請になった国の補助金制度を有効に活用しながら達成率の向上に努めたい。計画策定後の支援については、8割の進捗確認を実行しており伴走型支援ができています。一方、今年度の新たな需要開拓事業では、高速道路SAにおける地域物産展に参加を重ねたことでネクソコ西日本主催イベントへの出展要請が直接事業者へ来るようになった。また、三次市内の経済団体とJR西日本の連携により広島駅北口でイベントを開催し三次市及び三次市の事業者及び産品の紹介ができたことは成果と言える。2月には、幕張で開催された全国規模の商談会へ1事業者が参加し、バイヤーのニーズ、全国レベルの商談会へ参加するためのノウハウの蓄積ができ、更に、関東圏での百貨店借事へ参加が確定した。</p> <p>II. 地域経済の活性化</p> <p>本会ホームページを活用した地域イベント情報の提供は、期間中のアクセス件数10,652件、昨年同期の7,397件から44%増加しておりその効果を上げている。今後も、最新情報の提供と更新に努める。また、観光振興検討委員会の新設に向けた、観光先進地の研究は、前段の取組として、3月にみよし観光まちづくり機構がまとめた「今後の三次市観光推進に関する取り組むべき方向性に関する座談会及びワークショップ開催結果報告書」の解説と意見交換を行い、最初の一步を踏み出すことができた。</p> <p>III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力の向上</p> <p>他の支援機関との連携では、新たな組織で、三次エリアにおける事業承継支援について協議し情報共有ができた。経営指導員等の資質向上については、県連等の開催する研修会への参加や専門家派遣に同行してのOJT研修により支援能力は向上している。また、全職員を集めての支援事例の発表会により支援方法の共有ができた。</p>
	総評	<p>I. 経営発達支援計画</p> <p>経営計画の策定支援は、ここ3年33～34事業者で推移している。未だ計画策定の重要性が浸透していないと言える。令和元年度の補正予算以降、国の各種補助金制度が通年申請に変更になったことから、時間をかけて事業者と協議し、経営計画策定に補助金制度の活用を取り入れながら計画策定を進める。また、販路開拓支援は、今年度新たな取組を実行した。参加事業者には、反省点を踏まえながら、次のステップへ進めると同時に、管内事業所へ事業実施状況を公開し参加を支援する。</p> <p>II. 地域経済の活性化</p> <p>公式HPを活用した地域イベント情報の提供は、アクセス数の増加からも一定の効果がみられる。イベント時における小規模事業者への波及効果では、三良坂地区の2つのイベントを調査し、業種及び立地により大きく異なるものの、イベントが行われる商店街の店舗では、最大5割の売上増加に繋がっており、ここにヒントがあるものと考えられる。また、観光事業を推進する組織については、やっと動き始めたもので、今後の展開が重要と考える。</p> <p>III. 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上</p> <p>資質向上への取り組み及び事業の評価及び見直しも予定通り実行されている。また、他の支援機関との連携については、三次エリア事業承継支援研修会として実施した。</p>
支援事例		(株)広島県布野オーストリッチ